

第4回現業政策集会・分科会概要一覧

分科会	タイトル	開催趣旨
①清掃	全国の清掃現場の仲間に学ぶ ～次世代の廃棄政を担っていくために～	<p>現在、環境汚染や地球温暖化、人口増加による食料不足や各種エネルギーの枯渇などが世界規模で問題となっている。これらに加えて日本国内においては、少子高齢化、労働力人口の減少、大規模災害の多発などが問題となっている。問題解決にむけ、政府はAIの活用やSDGsの推進などの政策を打ち出しており、関係法令の改正や各自治体での政策実行をうながしている。</p> <p>こうした状況は、私たちが働く清掃現場においても例外ではなく、プラスチック製品の再資源化などによるごみの減量化とリサイクルの推進、清掃工場や収集業務へのAI導入、高齢世帯へのごみ出し支援、被災自治体への派遣体制確立や災害廃棄物の処理などの施策が進められている。そうしたことから、現場で働く私たちが現状を知り、各職場での課題を整理しながら、現場での対応力をみがいていくことが求められている。</p> <p>本分科会で、次世代の環境廃棄物行政を担っていくため、現状を学習し、全国の清掃現場の仲間に学ばなから、これからの単組・職場での取り組みにつなげていこう。</p>
②学校給食	子どもたちの未来を創るおしごと、それが学校給食!! ～調理員としての原点に戻り、子どもたちに笑顔を届ける～	<p>今、私たちが行っている調理業務に満足しているだろうか？現在、私たちは採用抑制という合理化攻撃にあい、調理員としてこれまで感じてきた喜びややりがいさえも奪われて、自分たちの本来行うべきことさえも、いつの日か置き忘れてしまっているのではないだろうか？</p> <p>この分科会では、本来、給食調理員としての最大の喜びである、子どもたちの笑顔を取り戻すために、調理員自身が仕事に喜びや誇りを感じながら調理業務を行うにはどのようなことが必要か、私たちに何ができるのかを講演や事例報告等を通して学んでいく。</p> <p>未来を担う子どもたちのために、調理員本来のあるべき姿を取り戻そう。</p>
③学校用務	学校職場(学校用務員職場)から取り組むSDGs ～子どもたちの未来を創造する学校環境整備～	<p>子どもたちの身近で働く、私たち学校用務員が日頃の学校環境整備にのなかにある小さな「ムダ」や「もったいない」を見つければ改善をしていくことは、やがて、子どもたちの未来のために持続可能な社会をつくることに通じる。そうしたことから、今回の政策集会では、学校職場(学校用務員職場)から取り組めるSDGsを学び、まず、身近な「ムダ」や「もったいない」について考える。</p>
④県職現業	未来に繋ぐ我々の技術継承 ～全職種で採用を！～	<p>県職現業の業務内容は道路維持や運転士、さらには試験研究機関と多岐にわたり、また住民に身近な業務が多くないものの、重要な役割を果たしている。今後、技術を継承していくとともに、さらなるサービスの拡充にむけた新たな業務が求められる。</p> <p>道路維持管理業務では、道路機能の強化、質の向上のため、これまで以上に現場での業務が複雑化し専門性の知識が必要である。また運転士では、運転業務に留まらず、講習講師などの新たな職の確立が重要であり、試験研究機関では、培ってきた技術や経験をもとに研究員の補助など業務の拡大が求められる。</p> <p>質の高い公共サービスの提供にむけ、技術の継承は必要不可欠であり、そのために必要な新規採用を勝ち取るべく、職種に応じた新たな職域の拡大などの議論を行い、新規採用へと繋げていく。</p>
⑤一般現業	知れば簡単！せいさく(政策)の“トリセツ” ～～政策今昔物語～～	<p>「政策って、なに？」みんなの困りごととは、自分の困りごと。自分の困りごととは、みんなの困りごと。困りごとを解決するまでに具体的な政策の成り立ちから作り方まで、その解決法までみいだしていく！</p>